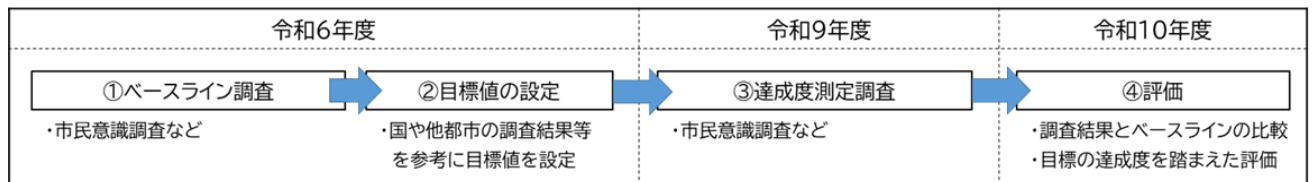


## 第2期仙台市自殺対策計画の評価・検証について

自死の予防を実現するために必要な状態に関する評価・検証を行うため、以下の手順と内容で調査を行う。

## 1 調査の手順（全体の流れは下図のとおり）

- ①令和6年度（計画期間の初年度）にベースラインを測定するための調査を行う（ベースライン調査）。
- ②ベースラインの測定結果に基づき、国や他都市の調査結果等を参考に、必要な状態を達成するための目標値を設定する。
- ③令和9年度（計画期間の4年目）にベースラインと同様の調査を行い、達成度を測定する（達成度測定調査）。
- ④令和9年度の調査結果とベースラインを比較し、目標の達成度を踏まえて、評価を行う。



## 2 調査の内容

- ・自死の予防を実現するために必要な状態について、ベースラインと達成度を測定するため、市民意識調査を実施する。
- ・調査項目の設定にあたっては、自殺対策連絡協議会委員からの意見提案もいただきながら、検討を進める。

## (1) ベースライン調査

- ・実施時期：令和6年度上半期（予定）
- ・対象者：住民基本台帳から居住区及び年代により抽出数を調整の上、無作為抽出した仙台市在住の15歳以上の男女5,000名
- ・調査方法：郵送配付／郵送回収及びウェブ回答を併用

## (2) 達成度測定調査

- ・実施時期：令和9年度（予定）
- ・対象者：住民基本台帳から居住区及び年代により抽出数を調整の上、無作為抽出した仙台市在住の15歳以上の男女5,000名
- ・調査方法：郵送配付／郵送回収及びウェブ回答を併用

\*なお、別途関係機関・団体へのヒアリングや、自殺対策相談窓口利用者への調査の実施についても検討する。